



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL https://www.koike-japan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,207	4.9	357	50.1	492	33.6	231	125.0
2019年3月期第2四半期	21,162	4.8	238	△43.1	368	△34.6	102	△51.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 447百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	55.84	—
2019年3月期第2四半期	24.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	54,872	31,484	53.4
2019年3月期	55,274	31,372	52.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,282百万円 2019年3月期 29,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△0.5	1,000	3.6	1,250	3.1	600	16.6	145.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,522,933株	2019年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	376,511株	2019年3月期	384,916株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,141,602株	2019年3月期2Q	4,138,279株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国と中国の貿易摩擦や英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しが見られましたが、世界経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である産業機械業界・造船業界では市況が低調に推移しましたが、建設業界では需要に回復の動きが続きました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場での顧客満足の実現に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は222億7百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は3億57百万円（同50.1%増）、経常利益は4億92百万円（同33.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億31百万円（同125.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、プラズマ切断機やレーザー切断機等の拡販活動の強化により大型案件の受注を獲得し、売上高・利益が増加しました。

その結果、売上高は87億75百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は4億27百万円（同76.2%増）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、新規拡販活動に注力するとともに、医療分野における新製品の投入や酸素濃縮器およびCPAPのレンタル契約件数が増加したことなどにより、売上高は堅調に推移しました。

一方で、ガス配送におけるドライバー不足などによる物流コストの増加や安全対策として老朽化した容器の更新費用が発生したことにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は81億19百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は2億62百万円（同23.2%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、安全講習会実施の推進や溶接プロセスのソリューション提案営業の強化により受注が増加するとともに、省力化に向けた大型の溶接ロボットの販売が好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は49億52百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は1億71百万円（同32.9%増）となりました。

その他

その他の部門においては、中国市場でディスプレイ製造装置への設備投資が減速したことにより、排ガス処理装置の売上高が大幅に減少しました。

その結果、売上高は3億59百万円（前年同期比33.2%減）、セグメント利益は18百万円（同61.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は548億72百万円で、前連結会計年度末比4億1百万円の減少となりました。

流動資産合計は300億55百万円で、前連結会計年度末比18億23百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が16億73百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は248億17百万円で、前連結会計年度末比14億22百万円の増加となりました。これは主に建設仮勘定が5億23百万円増加、投資有価証券が6億36百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は233億88百万円で、前連結会計年度末比5億12百万円の減少となりました。

流動負債合計は179億23百万円で、前連結会計年度末比7億67百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億85百万円減少、電子記録債務が3億73百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は54億65百万円で、前連結会計年度末比2億55百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が増加した1億25百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は314億84百万円で、前連結会計年度末比1億11百万円の増加となりました。これは主に為替換算調整勘定が1億91百万円減少の一方、その他有価証券評価差額金が3億59百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は53.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は83億25百万円で、前連結会計年度末に比べ2億30百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは21億34百万円の収入（前年同期は7億48百万円の収入）となりました。これは主に減価償却費と売上債権の回収によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは12億12百万円の支出（前年同期は4億41百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは6億25百万円の支出（前年同期は8億2百万円の支出）となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済による支出と配当金の支払があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「2019年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,571	8,813
受取手形及び売掛金	14,991	13,318
有価証券	330	213
商品及び製品	4,514	4,460
仕掛品	1,270	1,272
原材料及び貯蔵品	1,563	1,526
その他	879	723
貸倒引当金	△242	△272
流動資産合計	31,879	30,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,149	4,048
機械装置及び運搬具(純額)	1,226	1,157
工具、器具及び備品(純額)	373	386
土地	9,430	9,423
リース資産(純額)	1,276	1,333
建設仮勘定	56	579
有形固定資産合計	16,512	16,929
無形固定資産		
のれん	20	21
リース資産	14	11
その他	236	233
無形固定資産合計	272	267
投資その他の資産	6,610	7,620
固定資産合計	23,394	24,817
資産合計	55,274	54,872

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,715	7,229
電子記録債務	3,452	3,078
短期借入金	4,078	4,068
1年内返済予定の長期借入金	172	152
未払法人税等	188	231
賞与引当金	419	496
役員賞与引当金	71	30
受注損失引当金	10	11
製品保証引当金	173	166
建物解体費用引当金	43	23
その他	2,366	2,435
流動負債合計	18,691	17,923
固定負債		
長期借入金	634	760
役員退職慰労引当金	227	220
退職給付に係る負債	181	188
資産除去債務	23	23
その他	4,143	4,272
固定負債合計	5,210	5,465
負債合計	23,901	23,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,351
利益剰余金	20,535	20,435
自己株式	△921	△901
株主資本合計	25,996	25,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,642	2,002
繰延ヘッジ損益	△1	—
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	454	263
退職給付に係る調整累計額	223	234
その他の包括利益累計額合計	3,187	3,367
非支配株主持分	2,188	2,201
純資産合計	31,372	31,484
負債純資産合計	55,274	54,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	21,162	22,207
売上原価	15,343	16,240
売上総利益	5,818	5,966
販売費及び一般管理費	5,580	5,609
営業利益	238	357
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	55	61
受取賃貸料	95	95
持分法による投資利益	28	23
物品売却益	23	21
貸倒引当金戻入額	45	—
その他	37	43
営業外収益合計	296	262
営業外費用		
支払利息	36	37
賃貸費用	24	24
為替差損	98	21
その他	8	44
営業外費用合計	166	128
経常利益	368	492
特別利益		
固定資産売却益	13	0
投資有価証券売却益	0	—
関係会社清算益	4	—
その他	0	1
特別利益合計	18	1
特別損失		
固定資産除売却損	11	2
減損損失	40	0
建物解体費用引当金繰入額	45	—
その他	2	0
特別損失合計	98	3
税金等調整前四半期純利益	287	491
法人税、住民税及び事業税	168	208
法人税等調整額	△31	△10
法人税等合計	137	197
四半期純利益	150	293
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	102	231

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	150	293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	360
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	△151	△218
退職給付に係る調整額	△22	10
その他の包括利益合計	△155	153
四半期包括利益	△4	447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28	411
非支配株主に係る四半期包括利益	23	35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	287	491
減価償却費	709	750
株式報酬費用	—	4
減損損失	40	0
のれん償却額	8	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△60	46
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59	76
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49	△41
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1	1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	8	△3
建物解体費用引当金の増減 (△は減少)	45	△20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	△6
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	19	△46
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13	18
受取利息及び受取配当金	△66	△78
支払利息	36	37
持分法による投資損益 (△は益)	△28	△23
固定資産除売却損益 (△は益)	△1	2
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
関係会社清算損益 (△は益)	△4	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,187	1,672
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,258	△14
仕入債務の増減額 (△は減少)	△544	△689
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△136	86
その他	△77	△18
小計	1,055	2,254
利息及び配当金の受取額	75	89
利息の支払額	△41	△44
法人税等の支払額	△341	△165
営業活動によるキャッシュ・フロー	748	2,134

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△355	△192
定期預金の払戻による収入	351	181
有形固定資産の取得による支出	△467	△804
有形固定資産の売却による収入	29	4
無形固定資産の取得による支出	△51	△41
投資有価証券の取得による支出	△11	△12
投資有価証券の売却による収入	0	—
有価証券の取得による支出	△10	—
関係会社株式の取得による支出	—	△141
関係会社出資金の払込による支出	—	△202
関係会社の清算による収入	45	35
貸付けによる支出	—	△48
貸付金の回収による収入	9	0
その他	18	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441	△1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	59	△12
長期借入金の返済による支出	△236	△144
長期借入れによる収入	—	250
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△313	△364
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△289	△331
非支配株主への配当金の支払額	△21	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△802	△625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△500	230
現金及び現金同等物の期首残高	8,457	8,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,957	8,325

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,987	7,912	4,723	20,623	539	21,162	—	21,162
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,987	7,912	4,723	20,623	539	21,162	—	21,162
セグメント利益	242	341	128	713	47	760	△522	238

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△522百万円には、セグメント間取引消去75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△624百万円、棚卸資産の調整32百万円、その他の調整額△5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失計上額は、40百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,775	8,119	4,952	21,847	359	22,207	—	22,207
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,775	8,119	4,952	21,847	359	22,207	—	22,207
セグメント利益	427	262	171	861	18	880	△522	357

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△522百万円には、セグメント間取引消去48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△621百万円、棚卸資産の調整50百万円、その他の調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	7,011	109.7
高压ガス (百万円)	107	99.3
報告セグメント計 (百万円)	7,118	109.5
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	7,118	109.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	6,736	98.2	3,994	86.1

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	8,775	109.9
高压ガス (百万円)	8,119	102.6
溶接機材 (百万円)	4,952	104.9
報告セグメント計 (百万円)	21,847	105.9
その他 (百万円)	359	66.8
合計 (百万円)	22,207	104.9

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。